

競 技 審 判 上 の 注 意

- 1 この大会は、令和5年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、公認審判員規程に従って行います。
- 2 競技時の服装は、日本バドミントン協会大会運営規程第23条の定めによる（審査合格品を着用すること）。なお、シャツの背面にゼッケン（校名・県名 横 30cm×縦 20cm、字はよく判別できる色とし、文字のサイズは6cmから10cmの間とすること）をつけてください。
- 3 競技は、2複3単（D1-D2-S1-S2-S3の順、S1とD1およびD2の選手は兼ねられない）で行い、勝敗決定次第打ち切りとします。
- 4 オーダー用紙の記入には、ミスがないように注意してください。
- 5 エントリー選手（5～8名）に変更がある場合は、所定の用紙「**エントリー選手変更届**」を用いて、大会第1日目の本部が指定する時間までに届けてください。これ以後の変更は認めません。
- 6 オーダーの提出は、「**オーダー用紙提出用ファイル**」に入れて、放送の指示で行ってください。初回戦のオーダー用紙は、「**オーダー用紙提出用ファイル**」に入れてあります。
- 7 試合の進行状況により、本部の判断で、試合開始時刻・コートを変更することがあります。また、最初からもしくは試合の途中からコート並行で行う場合があります。
- 8 ベンチに入れるのは、エントリー選手（5～8名）と監督1名、コーチ1名、マネージャー1名の合計11名以内とします。監督・コーチ・マネージャーの変更については、必ず本部に届け出ることを。監督・コーチ・外部コーチは、IDカードを必ず着用すること。着用がない場合は、ベンチに入れません。外部コーチは、あらかじめ申請のあったものに限りです。
- 9 コール後5分を経て出場選手が整列しない場合は、原則として棄権とみなします。
- 10 競技開始前と終了後の対戦校あいさつ時に、引率顧問の確認を行います。顧問不在の場合は、没収試合とします。引率顧問が会場を離れる際は、必ず本部に届け出てください。
- 11 試合ごとに1校3分間のコート練習を行います。第2日は、競技開始前に割当練習を行います。
- 12 試合が連続する場合のインターバルは、次の通りとします。
 - ・団体戦が連続する場合は、10分。
 - ・団体戦において2コート以上並行して試合を行い、同一選手が連続して試合をする場合は10分。
- 13 各マッチ（試合）のインターバルは、次の通りとします。
 - ・各ゲーム中に一方のスコアが11点になった時、「60秒以内のインターバル」を与えます（競技区域から離れることなく20秒前にはコートに入る）。
 - ・各ゲームの間は、「120秒以内のインターバル」を与えます（20秒前にはコートに入る）。
- 14 コートサイドには各自のバッグ等を持参し、飲み物等の荷物はすべて各自のバッグに収容してください。
- 15 マッチ（試合）中、選手の水分補給を認めますが、必ず主審の許可を得てください。団体戦のベンチでの水分補給は、認めません。氷のうは、ベンチで保冷バッグなどに入れ保管して下さい。
- 16 次のような行為に対しては、厳正に対処します（警告、フォルト、限度を超えた場合は失格）。
 - ・体力や息切れの回復等のための遅延にかかわる行為。
 - ・主審の許可なしにコートを離れる行為。
 - ・故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。
 - ・審判員や観客に対し横柄な振る舞いや下品で無礼な態度、言動。
 - ・ラケットや身体でネット等のコート施設を叩く、耳障りな掛け声や叫び声を発する等の競技規則を越えた不品行または不快な行動。
 - ・モバイル機器の使用
- 17 試合中のけがや病気の際コートに入ることが許されるのは、医師などのほか必要と認められる競技役員に限られます。
- 18 審判は敗者審判制とします。敗者校は、審判要員4名で担当してください。2日目の審判は主管が依頼した学校が担当します。
- 19 決勝戦は、本部役員が主審をする場合があります。
- 20 会場使用上の注意を遵守し、破損・汚損のないよう細心の注意を払ってください。
- 21 会場内で出たゴミは、各自で持ち帰ってください。